

# ニッポン創業経営者ファンド: 第3期を終えて

ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズ  
追加型投信/国内/株式

2020年10月29日

- 「ニッポン創業経営者ファンド(愛称 リーダーズ)」は**10月27日に第3期決算を迎えました。**
- 第3期末の基準価額は11,255円となり、第2期末の10,331円から924円上昇しました。**
- 第3期中に組入銘柄を大幅に入れ替えました。当レポートでは、銘柄入れ替えの考え方と成果、今後の運用方針等についてご案内申し上げます。**

## 1. 第3期のパフォーマンス (2019年10月29日～2020年10月27日)

### 3月に急落

第2期末(2019年10月28日)の**10,331円**でスタートした第3期の当ファンドの基準価額は、2020年に入り一時11,000円を超える場面もありましたが、その後3月にかけて急落し、**3月末には7,419円**になりました。これは、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、経済や企業活動に対する懸念から内外の株式市場が急落したことが主因です。当ファンドでの組入れが多かった新興市場株は、大型株以上に下落した銘柄が多かったため、基準価額の下落は市場平均よりも大きなものとなりました。

### 4月以降一気に回復

4月以降は、各国政府・中央銀行の財政支援や市場への資金供給が積極的に進められたことから、金融市場は落ち着きを取り戻しました。株式市場は戻りを試す展開となり、代表的な株価指数であるTOPIX(東証株価指数)は当ファンドの第3期末までに15.3%上昇しました。

当ファンドの基準価額も急ピッチで回復し、**第3期末の基準価額は11,255円、3月末からの上昇幅3,836円、上昇率51.7%**となりました。

4月以降、基準価額の上昇率が市場平均を大きく上回った背景としては、①コロナ禍という環境変化に対して素早く対応できた創業経営者が多かったこと、②コロナ禍という未曾有の環境変化に直面し、当ファンドでも組入銘柄を積極的に入れ替えてきたこと、などが挙げられます。

### 設定来リターンは12%強

ただ、設定来でみると基準価額の上昇率は12%台にとどまっております。3年間のリターンとしては十分ではないと考えており、引き続き基準価額の上昇に努めてまいります。

図表1. 第3期の当ファンドの基準価額とTOPIX



※期間: 2019年10月28日～2020年10月27日  
※基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。  
※TOPIXは、2019年10月28日を基準価額に一致させて指数化しています。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

日付	①第2期末 2019/10/28	②3月末 2020/3/31	③第3期末 2020/10/27	①→② 騰落率	②→③ 騰落率	①→③ 騰落率
基準価額	10,331	7,419	11,255	-28.2%	51.7%	8.9%
TOPIX	1648.43	1403.04	1617.53	-14.9%	15.3%	-1.9%

図表2. 基準価額に寄与した主な銘柄

プラス寄与上位10銘柄		マイナス影響上位10銘柄	
1	エムスリー	1	ティーケーピー
2	オプティム	2	TOKYO BASE
3	日本M&Aセンター	3	LIFULL
4	ファーストリテイリング	4	じげん
5	SHIFT	5	セレス
6	日本電産	6	ラクスル
7	ミンコブ・ジ・インフォノイド	7	ベクトル
8	トリケミカル研究所	8	UTグループ
9	AI inside	9	CYBERDYNE
10	サイバーエージェント	10	農業総合研究所

(期間) 2019年10月29日～2020年10月27日

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズ」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズ  
 追加型投信／国内／株式

## 2. 第3期の運用状況

### 積極的な銘柄入れ替え

当ファンドでは第3期中に積極的に銘柄の入れ替えを行いました。右表に、第2期末と第3期末の上位組入銘柄を示していますが、両期に顔を出している銘柄は、サイバーエージェントのみとなっております。上位10銘柄の比較ですので、必ずしも全株売却や新規組入れを示すわけではありませんが、第3期中に積極的に銘柄の入れ替えを行った結果です。

図表3. 上位組入銘柄の変化

2019年10月28日時点		2020年10月27日時点	
銘柄名	組入比率	銘柄名	構成比
1 ティーケーピー	6.8%	1 日本電産	8.6%
2 ストライク	6.4%	2 ファーストリテイリング	7.6%
3 L I F U L L	4.8%	3 ウェストホールディングス	6.9%
4 サイバーエージェント	4.6%	4 トリケミカル研究所	6.8%
5 C Y B E R D Y N E	4.4%	5 サイバーエージェント	6.7%
6 じげん	4.3%	6 日本M&Aセンター	6.2%
7 オプティム	4.2%	7 オープンハウス	5.6%
8 ジンズホールディングス	4.0%	8 エレコム	5.1%
9 ラクスル	3.8%	9 ニトリホールディングス	4.3%
10 ベクトル	3.8%	10 エムスリー	3.6%

(注) 組入比率は、各時点における当ファンドの純資産総額に対する比率

### 銘柄入れ替えの考え方

第3期には、以下のような姿勢を強めて銘柄入れ替えや組入比率調整を行いました。

#### ①流動性重視

3月の相場急落局面では、流動性の低い銘柄が極端な値動きを示しました。流動性の低い銘柄は売買時に時間がかかるといった問題もあります。変化が早い環境下で売買時に時間がかかることは好ましくないと考え、流動性の低い銘柄の組入れを抑制するようにしました。

#### ②足元の業績重視

投資対象企業の成長性が中長期投資にとって重要であることは否定しませんが、現実の株式市場では短期的な業績動向が株価に及ぼす影響も大きいと、これまで以上に、足元の業績動向を踏まえた銘柄選定・組入比率調整を行うようにしました。第3期におきましては、コロナ禍という想定外の大きな業績環境の変化が各企業の業績や財務に与える影響に着目しました。

#### ③機動的な銘柄入れ替え・組入比率調整

優れた創業経営者企業といえども、株式市場での評価が高まる時期と、そうでない時期があります。業績動向や市場の物色動向を踏まえて、市場での評価が高まると考えられる銘柄にウエイト付けするよう心掛けました。

### 新規組入銘柄が基準価額の上昇に寄与

第3期中の基準価額の変化に対して寄与度の高かった銘柄をみると、上位10銘柄のうち6銘柄は、第3期中に新規に組み入れた銘柄です(図表4)。市場環境の影響などもありますので一概には言えませんが、積極的な銘柄の入れ替えが、基準価額の回復に一定の寄与をしたと捉えております。

図表4. 第3期の基準価額上昇に寄与した主な銘柄

プラス寄与上位10銘柄	第3期中の投資行動
1 エムスリー	継続保有
2 オプティム	継続保有
3 日本M&Aセンター	新規組入れ
4 ファーストリテイリング	新規組入れ
5 S H I F T	新規組入れ
6 日本電産	継続保有
7 ミカブ・ジ・インフォノイド	新規組入れ
8 トリケミカル研究所	新規組入れ
9 A I i n s i d e	新規組入れ
10 サイバーエージェント	継続保有

(期間) 2019年10月29日～2020年10月27日

## 3. 今後の運用について

変化が激しく先行きが見通しにくい環境下では、合議制による時間をかけた意思決定よりも、優れたリーダーによるトップダウンの迅速な意思決定が重要になると考えています。もちろん、全てのリーダーが上手いく、ということにはならないでしょう。見極め・選別が重要になります。間違えたと思ったら迅速に修正する機動性も求められると考えています。当ファンドでは、環境の変化をチャンスと捉え、環境の変化に適応し、業績を伸ばせるとされる創業経営者企業を選別して投資し、基準価額の上昇に努めてまいります。

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズ」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズ  
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2020年10月27日)

設定来の基準価額の推移



ファンドの状況

基準価額	11,255円
純資産総額	9,748,257,673円
株式組入比率	89.2%
組入銘柄数	21銘柄

- ※ 基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。
- ※ 基準価額は設定日前営業日を1万円当たりの当初設定元本としています。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10銘柄

	銘柄名	構成比
1	日本電産	8.6%
2	ファーストリテイリング	7.6%
3	ウエストホールディングス	6.9%
4	トリケミカル研究所	6.8%
5	サイバーエージェント	6.7%
6	日本M&Aセンター	6.2%
7	オープンハウス	5.6%
8	エレコム	5.1%
9	ニトリホールディングス	4.3%
10	エムスリー	3.6%

業種別構成比

	業種名	構成比
1	情報・通信業	24.7%
2	サービス業	19.7%
3	電気機器	13.7%
4	小売業	11.9%
5	化学	6.8%
6	不動産業	5.6%
7	建設業	6.9%

- ※ 銘柄、業種の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ※ 各構成比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

ニッポン創業経営者ファンド（愛称 リーダーズ） ファンドの特色

- ◆ 創業者が経営の中心を担っている日本の企業の株式へ投資します。

創業経営者企業とは、自ら事業を起こした創業者が現在も経営を担っている企業のことを指しますが、当ファンドでは、これに加えて以下の2つのケースに当てはまる企業についても、実質的に創業経営者企業と考え、投資候補銘柄に加えられます。

ケース1

現行法人の登記上の創業者は、事業の買収・再編、設立経緯などの理由により別の人物であるが、企業の現在の状態などから判断して、現在の経営者が実質的には創業者であると考えられる場合。

ケース2

厳密には現行法人の創業者ではないが、現在の経営者が事業内容やビジネスモデルの変革を行った結果、実質的には現在のビジネスの創業者と見て差し支えないと考えられる場合。

※創業者が引退している企業や創業者家系による同族経営企業等は投資候補銘柄に含まれません。

- ◆ 「リーダーシップ」「洞察力」「社会性」の観点から、企業成長の源泉となる創業経営者の能力に着目した銘柄選定を行います。
- ◆ 投資銘柄数は原則30銘柄以内とし、中長期的な視点から厳選投資を行います。
- ◆ 株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズ」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズ  
追加型投信／国内／株式**
**ニッポン創業経営者ファンド 愛称 リーダーズに関する留意事項**
**【岡三アセットマネジメントについて】**

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

**【投資リスク】**

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様様に帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組み入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「銘柄集中リスク」、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

**【その他の留意点】**

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。  
また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の【投資リスク】をご参照下さい。

**【お客様にご負担いただく費用】**

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入手数料 : 購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）  
※詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料 : ありません。
  - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬） : 純資産総額×年率1.584%（税抜1.44%）
  - その他費用・手数料
  - 監査費用 : 純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）

※有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。  
（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の【手続・手数料等】をご参照ください。

**販売会社**

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
おきぎん証券株式会社	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西日本シティTT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
広田証券株式会社	近畿財務局長(金商)第33号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
明和証券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○		○	
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社富山銀行	北陸財務局長(登金)第1号	○			

**<本資料に関するお問合わせ先>**
**フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)**